別紙２

日振協第三者評価要領

日振協は、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律(令和5年法律第41号)が、令和5年6月制定され、同6年4月から施行されたこの機会に、2本の評価事業(教育活動評価・第三者評価)を統一するとともに評価項目を検証し、従来の「自己点検・評価項目」では不十分な点や不適当な部分を改定し、運営状況をより適切に確認し、課題をより明確に把握できるようにしました。

本文書１ページ以降に、改定された「自己点検・評価報告書」を示します。この報告書には評価に当たっての観点や判断のよりどころ等が示されており、報告書に記載された指示や問いに沿って答えることで、各日本語教育機関の教育・運営等について、適切な自己点検・評価が行えるように構成されています。

「日振協第三者評価」は、①各日本語教育機関が自己点検・評価を行い、その結果を報告する、②その内容を日振協評価チームが検証・再評価する、③さらに第三者評価委員会が日振協評価チームの再評価結果を確認し、必要な修正を経て承認する、という3段階の手順を経て行われます。

以下、第1段階目で使用する「自己点検・評価報告書」の内容・形式について説明します。

＊評価項目は、大項目（1〜10）及びその下位項目（丸付き数字）から成る。

＊下位項目（丸付き数）には必要と思われる着眼点（中黒点「・」によって始まる項目）を示し、各着眼点を参照した上で、下位項目についての評価を選択肢（□のチェックボックスから始まるもの）から選ぶこととし、受審者の主観的あるいは恣意的な評価を避けるようにした。

＊下位項目評価結果を前提に、大項目（1〜10）の達成状況についての総合評価を、3段階からなる選択肢（□のチェックボックスから始まるもの）から選ぶ形式とした。ただし一部の下位項目については、列挙されたチェック項目（ [　]のチェックボックスから始まるもの）の中から当てはまるものを選ぶようになっている形式の箇所もある。

＊項目によっては、単に自己評価を示すだけでなく、原則として、「そうした評価になる根拠」を挙げて評価する。

＊日振協第三者評価では受審機関の現在の達成状況の確認とともに、更なる向上のための課題明確化が重要であることから、それぞれの見出し項目について改善すべき課題をいつまでに、またどのように改善するかを記述する。

自己点検・評価報告書

（日振協第三者評価受審機関用）

日本語教育機関名：

評価項目１ 教育の理念・目標と、その具体化のための方策

貴日本語教育機関(以下「機関」という)の「理念」をお書きください。なお、ここでいう「理念」とは、「日本語教育を実施するにあたり、貴機関として最も高い価値を置いている基本的方針」（例：〜という人材を育成したい、「学習者中心」という考え方に基づいて教育を行いたい、〜という点で社会・世界に貢献したい、等）であり、かつ「貴機関を他機関から区別する、独自の特色を示すもの」のことを指します。

貴機関の「目標」を具体的に記述してください。なお、ここでいう「目標」とは、「上記『理念』を形にするために設定する、教育上の具体的な達成状況」（例：学生本人の人生の目標に適合した高等教育機関への進学を実現する、日本の企業に就職が十分可能となるレベルのコミュニケーション能力を育成する、等）であり、かつ「達成できたかどうかが確認可能なもの」のことを指します。

①上記「理念」と「目標」とが、お互いにどのように関連しあっているかを説明できますか。

[　]はい　　[　]いいえ

＊「はい」と答えた場合は、両者の関係を具体的に説明してください。

【理念・目標の具体化についての総合評価】

□　理念に基づいた目標が設定されるとともに、目標達成のための方策がとられ、目標が確かに達成されている

□　理念と目標の関係が明確でない。あるいは目標が十分には達成できているとは言えない

□　理念と目標が無関係。あるいは目標が達成できていないか、達成できたかどうかを確認できるような目標になっていない

【改善すべき課題】

＊理念・目標の設定について課題がある場合は、何を、いつまでに、どのように改善するか、簡潔に記述してください。

評価項目２ 日本語教育機関の運営

① 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準に適合していることを年1回以上確認している。

* + はい　　□　いいえ

1. 運営の透明性が確保されている。

（振り返りのための着眼点）

・ 校長、主任教員、専任教員、非常勤教員、事務局統括職員、事務職員の職務内容及び責任と権限を明確に定め、かつ、教職員間で周知されている。

・　管理、運営のための諸規程を整備し、規定に基づいた運営が効果を上げている。

・　予算編成が適切になされ、明確なルールにより執行している。

（自己評価）

□ 上記着眼点が満たされ、十分な効果を上げている

□ 上記着眼点はおおむね満たされているが、十分な効果が上がっているとは言えない

□ 上記着眼点の中に満たされていないものが多い

③ 運営に必要な情報が機関内の関係者間で共有されている。

（振り返りのための着眼点）

* 機関の短期及び中長期目標が教職員間で周知されている。

・　運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有する仕組みがあり、機能している。

（自己評価）

□ 適切に行われている

□ 一部に課題がある

□ 課題が多い

④ 運営にあたり法令を遵守している。

（振り返りのための着眼点）

* コンプライアンス意識向上のため担当者を定めて取組を行い、効果が出ている。
* 関係官庁への届出、報告を遅滞なく行っている。

（自己評価）

□ 適切に行われている

□ 一部に課題がある

□ 課題が多い

【運営についての総合評価】

□　運営方法は全般的に優れている

□　一部に課題はあるが適切な運営方法である

□　改めるべき課題の多い運営方法である

【改善すべき課題】何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述。

評価項目３ 情報公開

① 機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。

（公開している項目をチェック）

□ 設置者・設置代表者名　□ 学校種別　□ 設置年月日　□ 所在地　□ 連絡先

□ 教育課程(設置コース)　□ 入学時期　□ 教育課程(各コース)の教育内容

□ レベル設定　□ 定員　□ 在籍者数　□ 教員数　□ 教室数　□ 進路

□ 自己点検・評価結果　□ 財務状況

② 募集及び納付金に関する情報を公開している。

（公開している項目をチェック）

□ 応募条件　□ 出願方法　□ 提出書類　□ 選考方法　□ 納付額　□ 納付時期

□ 納付方法　□ 関係諸法令に基づいた学費返還規程

③ 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。

（自己評価）

□ 各言語とも正確に行っている

□ 一部課題がある

□ 課題が多い

④ 情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。

（自己評価）

* 情報は十分に整理されて示されている
* 一部課題がある
* 課題が多い

⑤ 公開されている情報は常に最新のものに更新されている。

（自己評価）

* 情報は常に最新のものである
* 一部更新できていない箇所もある
* 課題が多い

【情報公開についての総合評価】

□　質・量ともに十分かつ最新の情報を、整理された形態で公開している

□　公開された情報の質・量、あるいはその公開形態に一部課題がある

□　情報公開について課題が多い

【改善すべき課題】何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述。

評価項目４ 入学者の募集と選考

① 適切な方法で入学者の募集を行っている。

（振り返りのための着眼点）

・ 教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っている。

・ 機関所属の職員が入学希望者に対して情報提供や入学相談を行っている。

・ 海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行っている。

・　海外の募集代理人の適切性を確認し、募集活動を具体的な情報により把握している。

（自己評価）

□ 着眼点のすべてに該当している

□ 一部該当していない

□ 該当しない項目が多い

② 適切な方法で入学者の選考が行われている。

（振り返りのための着眼点）

・ 受け入れるコースの教育内容が入学志願者のニーズと合致することを確認している。

・ 入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っている。

・ 入学志願者の学習能力、学習意欲、日本語能力等を確認している。

・ 入学志願者の情報を正確に把握し、提出された根拠資料で確認している。

・ 不法残留者を多く発生させている国からの志願者には機関所属職員が面接等の調査を行っている。

（自己評価）

* 着眼点のすべてに該当している
* 一部該当していない
* 該当しない項目が多い

【入学者の募集と選考についての総合評価】

□ 募集と選考を適切に行い、機関の目的に適合した入学者を、質・量ともに満足できるレベルで得ることができている

□ 募集と選考はおおむね適切と考えられるが、得られた入学者の質または量において、やや課題が残る状況である

□ 機関の目的に適合した入学者を得ることができているとは言えない

【改善すべき課題】何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述。

評価項目５ 教育活動

① 教育目標に合致した教育活動の計画を作成している。

（振り返りのための着眼点）

　　・　理念と教育目標達成のためのカリキュラムを編成している。

・　学生の熟達度を、特定の試験の成績だけで判定するのでなく、「日本語教育の参照枠」の枠組みの中に位置づけて理解する試みを行っている。

・　理念及び教育目標に適合した教材が選択、又は制作されている。

（自己評価）

□　教育活動が理念・教育目標を達成するために計画されており、かつ確かに理念・教育目標の達成に貢献していることを、根拠を挙げて説明できる

□　教育活動は理念・教育目標を達成するために計画されているが、その達成に貢献していることを、根拠を挙げて説明することは困難

□　教育活動と理念及び教育目標との関係を明確に示すことは困難

* 教育活動が理念・目標の達成に貢献している理由を挙げられる場合は、具体的に記述するか、根拠となる文書を添付してください。

② 教育活動を適切に実施するための手立てを講じている。

（振り返りのための着眼点）

・ 教育活動の計画が教員全体に周知されている。

・ 学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。

・ 当該学期の学習内容及び学習予定等を学生に開示している。

・ 出席簿を備え、正確に記録している。教育活動の振り返りと改善に活かせるような形で授業記録簿を残し、記録内容を関係教員間で共有している。

・ 学習成績の判定基準及び方法が定められ開示されている。また判定結果を的確に学生に伝えている。

（自己評価）

□　教育活動を適切に実施するための手立てが十分に講じられており、かつそれらが確かに教育上の効果を上げていることを、根拠を挙げて説明できる

□　教育活動を適切に実施するための手立てが講じられているが、それらが確かに教育上の効果を上げていることを、根拠を挙げて説明することは困難

□　教育活動を適切に実施するための手立てが講じられているとは言えない

* 教育活動が教育上の効果を上げている理由を挙げられる場合は、具体的に記述するか、根拠となる文書を添付してください。

1. 授業を含む教育活動全体の検証を定期的かつ適切に行っている。

（振り返りのための着眼点）

・ 検証のための体制、方法及び評価の基準を定めている。

・ 学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。

・ 「〜を実施している」ことの確認だけでなく、「それが実際に効果を上げているか」を、

根拠に基づき確認できるような評価システムとなっている。

・　評価結果が教育内容や方法等のプログラム改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。

・ 評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。

（自己評価）

□　教育活動の評価を実施しているだけでなく、評価の妥当性の検証、評価結果の教育活動への活用などが十分に行われていることを、具体的に説明できる

□　教育活動の評価を実施しているが、評価の妥当性の検証、評価結果の教育活動への活用などが十分に行われていることを具体的に説明することは困難

□　教育活動の評価を適切に実施しているとは言えない

* 評価の妥当性の検証、評価結果の教育活動への活用などが行われている場合は、具体的に記述するか、根拠となる文書を添付してください。

【「教育活動」についての総合評価】

□　教育活動の計画・実施・評価が統一的な方針のもとに行われ、不断の改善が実際に行われている

□　教育活動の計画・実施・評価・改善は目指されているが、十分に機能しているとは言えない

□　教育活動を評価し改善するシステムが存在しないか、ほとんど機能していない

【改善すべき課題】何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述。

評価項目６ 教職員育成

① 教育力及び支援力強化のための取組を適切に行っている。

（振り返りのための着眼点）

・ 教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示している。

・ 新任教員、初任教員を対象とし、明示された「必要な能力・資質」を向上させることを目

的とした研修を実施している。

・ 経験を問わず、所属する教職員を対象に、振り返りの機会を設け、情報の共有や成果の確

認を行っている。

・　他機関の実施する研修会等への参加を促している。

（自己評価）

□　上記着眼点で示された多様な試みを実施し、十分な効果を上げていることを具体的に説明できる

□　上記着眼点で示された試みの多くを実施しているが、それらが十分な効果を上げていることを根拠を挙げて説明することはできない

□　上記着眼点で示されたような試みの中には実施されていないものが多い

* 教職員育成の試みが十分な効果を上げている根拠を示せる場合は、具体的に記述するか、根拠となる文書を添付してください。

1. 教職員の自己評価等を含む多方向的な教職員評価を行っている。

（振り返りのための着眼点）

* 教職員評価のための体制、方法及び評価の基準を定めて、開示している。
* 上位者からの評価だけでなく、自己評価、相互評価、学生からの評価も含む、多方向的な

評価システムが導入されている。

・ 評価結果を的確に教員に伝え、それが教員の能力・資質の向上に結び付いている。

* 評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。

（自己評価）

□　教職員の評価を実施しているだけでなく、それが教員の能力・資質の向上に結びついていることを具体的に説明できる

□　教職員の評価を実施しているが、それが教員の能力・資質の向上に結びついていることを具体的に説明することは困難

□　教職員の評価を適切に実施しているとは言えない

* 教職員評価が教員の能力・資質の向上に結びついている根拠を示せる場合は、具体的に記述するか、根拠となる文書を添付してください。

【「教職員育成」についての総合評価】

□　教職員育成・評価が統一的な方針のもとに行われ、実際に効果を上げている

□　教職員育成・評価は実施されているが、十分に機能しているとは言えない

□　教職員育成・評価のシステムが存在しないか、ほとんど機能していない

【改善すべき課題】何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述。

評価項目７ 学生支援

1. 日本社会を理解し、一構成員として活動するための取組を適切に行っている。

（振り返りのための着眼点）

・ 留学生活に関するガイダンスを定期的に実施し、その効果を確認している。

・ 留学生活に関する生活指導担当者が特定され、周知されている。

・ 日本社会、日本文化を理解するための活動を行っている。

（自己評価）

□　上記のような取組を行い、それが十分な成果を上げている

□　上記のような取組を行っているが、十分な成果を上げているとは言えない

□　上記のような取組が十分に実施できていない

② 進路指導を適切に行っている。

（振り返りのための着眼点）

・ 進路指導担当者が特定されている。

・ 学生の希望する進路を随時把握し、入学時から一貫した指導をしている。

・ 進学及び就職に関する資料や情報を収集し、学生に提供している。

・ 卒業後の進路を把握している。

（自己評価）

□　上記のような取組を行い、それが十分な成果を上げている

□　上記のような取組を行っているが、十分な成果を上げているとは言えない

□　上記のような取組が十分に実施できていない

③　安全な留学生活を送るための適切な取組をしている。

（振り返りのための着眼点）

・ 健康、衛生面について指導する体制を整えている。

・ 重篤な疾病や障害、交通事故に遭った場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。

・ 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法等を定め、避難訓練を定期的に実施している。

・ 必要な場合は母語等による支援体制を整えることができている。

（自己評価）

□　上記のような取組を行い、それが十分な成果を上げている

□　上記のような取組を行っているが、十分な成果を上げているとは言えない

□　上記のような取組が十分に実施できていない

④　入国・在留に関する指導及び支援を適切に行っている。

（振り返りのための着眼点）

・ 入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っている。

・ 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させないための取組を継続的に行い、発生を防いでいる。

（自己評価）

□　上記のような取組を行い、それが十分な成果を上げている

□　上記のような取組を行っているが、十分な成果を上げているとは言えない

□　上記のような取組が十分に実施できていない

【学生支援についての総合評価】

□ 生活、進路、在留等すべてにわたり適切に行っている

□ 一部不十分な点がある

□ 改善すべき点が多い

【改善すべき課題】何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述。

評価項目８ 施設・設備

① 語学学習に適した施設・設備である。

（振り返りのための着眼点）

・ 教室内は十分な照度があり換気がなされているとともに、必要な遮音性が保たれている。

・ 視聴覚教材やICTを活用した授業が可能な教育用機器及び設備が備わっている。

・ 授業時間外に自習できるスペースおよびリソースを提供している。

（自己評価）

* 着眼点すべてに該当する
* 一部該当しない部分がある
* 該当しない部分が多い

② 学生及び教職員の安全を考慮し、適切な対処を行っている。

（振り返りのための着眼点）

・ 法令上必要な設備等を備えている。

・ 廊下、階段等は緊急時に危険のない形状である。

・　バリアフリー対策を施している。

（自己評価）

* 着眼点すべてに該当する
* 一部該当しない部分がある
* 該当しない部分が多い

【施設・設備についての総合評価】

□ 機関として十分な施設、設備を備えている

□ 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準には適合しているが、充実した日本語教育を行うためには一部課題がある

□ 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準には適合しているが、充実した日本語教育を行うための課題が多い

【改善すべき課題】何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述。

評価項目９ 地域貢献・社会貢献

① 地域貢献、社会貢献となる活動を行っている。

（振り返りのための着眼点）

・ 小中学校の国際理解教育、ボランティア通訳等の地域活動への参加、地域の人々との交流

活動を行っている。

・ 地域における日本語教育等を積極的に行っている。

（自己評価）

* 貢献活動を実施し、地域・社会からも評価を受けている
* 貢献活動を実施しているが、地域・社会からの評価は確認できていない
* 貢献活動は実施できていない

【地域貢献・社会貢献についての総合評価】

□　積極的に地域貢献・社会貢献に取り組んでいる

□　限られた範囲で地域貢献・社会貢献に取り組んでいる

□　地域貢献・社会貢献の活動はほとんど行っていない

【改善すべき課題】何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述。

評価項目10 財務

① 日本語教育を継続的に行うために適切な財務状況である。

（振り返りのための着眼点）

・ 財務状況は、中長期的に安定している。

・ 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。

・ 適正な会計監査が実施されている。

(自己評価)

　□ 安定した財務状況が、会計監査で確認されている

　□ 財務状況が一部安定していないことが、会計監査で指摘されている

　□ 財務状況が安定していないことが、会計監査で指摘されている

【財務状況についての総合評価】

□　安定した財務状況を保っている

□　財務状況が一部安定していない

□　財務状況が安定していない

【改善すべき課題】何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述。

総合評価　（特色として今後伸ばしたい点を自由記述[600字から1500字以内]）